記入日（西暦）2023 年 10 月 1 日

医療薬学学術小委員会　（新規）

１．小委員会名、研究テーマ

小委員会名	2023 年度医療薬学学術第 2 小委員会
研究テーマ	薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究

２．小委員会の委員長、構成委員

委員長	フリガナ	サトウ ヒロキ
	氏　名	佐藤　宏樹
	所属施設の名称（正式名称）	東京大学　大学院情報学環／大学院薬学系研究科

	氏　名	所　属
構成委員	澤田 康文	東京大学大学院薬学系研究科
	古賀 友一郎	一般社団法人福岡市薬剤師会
	長谷川 佳孝	株式会社アインホールディングス
	森 和明	株式会社ユヤマ

３．研究の目的

医療・介護の現場にもDX（デジタルトランスフォーメーション）の波が押し寄せている。政府・与党の医療DX令和ビジョン2030や、経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針）では、持続可能な社会保障制度の構築のために「医療・介護分野でのDXを含む技術革新を通じたサービスの効率化・質の向上を図る」こととされている。具体的な医療DXの基盤としては、厚生労働省のデータヘルス改革推進本部のもと、オンライン資格確認等システムの運用が開始され、電子処方箋の仕組み、医療情報を患者や全国の医療機関等で確認できる仕組み「全国医療情報プラットフォーム」の構築が急速に行われている。

本研究では、医療DXを円滑に進めるために、全国の地域医療に貢献する薬局薬剤師を対象とした調査を行い、医療DXに対して抱える不安や課題、望まれる支援などを明らかにし、薬局薬剤師が円滑に医療DXに対応できるような提案を行うことを目的とする。

４．活動計画

(1)初年度 (2023 年度)
1)第1回調査の実施
目的:医療DXに対して抱える不安や課題、望まれる支援などを明らかにする
対象:全国の保険薬局の薬剤師
方法:ウェブ調査

2)調査結果の解析、第2回調査の調査項目の立案
目的:第1回調査で明らかとなった医療DXに対して抱える不安や課題、望まれる支援などに関して具体的な対応策を検討し、その実現可能性明らかにする。

(2)2年度目(2024 年度)
1)第1回調査の結果について、年会での発表や学術誌への報告を行う。

2)第2回調査の実施
目的:医療DXを円滑に推進できる対応策を明らかにする
対象:全国の保険薬局の薬剤師
方法:ウェブ調査

(3)3年度目(2025 年度)
1)第2回調査の結果について、年会での発表や学術誌への報告を行う。

５．共同研究、他学会・団体からの支援（ＣＯＩ申告を含む）

調査の実施にあたっては、各薬局への調査へのお願い文書の配布に、公益社団法人日本薬剤師会の協力を得て行う。

その他、現時点で、構成メンバー以外との共同研究や協力・連携、研究費の支援を受ける予定はない。

なお、委員長は、薬局、一般用医薬品、調剤機器等に関連する企業 9 社の寄附による寄付講座の教員である。